

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仮称東消防署庁舎棟新設工事【庁舎棟】	階数	地上4F、地下1階
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	準住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	42人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年2月 予定	評価の実施日	2021年2月25日
敷地面積	仮想敷地2,286㎡	作成者	(株)カトウ建築事務所
建築面積	1,012㎡	確認日	2021年2月25日
延床面積	2,992㎡	確認者	(株)カトウ建築事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (kg-CO2/年・m2)

②建築物の取組み: 74%

③上記+②以外の: 74%

④上記+: 74%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
総合	特になし	-
Q1 室内環境	F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど、空気質環境に十分配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。
Q2 サービス性能	食堂(リフレッシュスペース)に自動販売機設置するなど、心理性・快適性に配慮している。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	O Aフロアを採用するなど、部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
仮称東消防署庁舎棟新設工事(庁舎棟)

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境					0.40		-		3.1
1 音環境				3.4	0.15	-	-		3.4
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	-	-		
1.2 遮音				4.2	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		サッシ遮音性能T-2以上を採用		5.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	-		
1.3 吸音				3.0	0.20	-	-		
2 温熱環境				2.7	0.35	-	-		2.7
2.1 室温制御				3.2	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能		窓SC=0.248、U=3.51、外壁U=1.69、屋根U=0.62、外床U=1.11		4.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境				3.0	0.25	-	-		3.0
3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
1 昼光率				1.0	0.60	-	-		
2 方位別開口					-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30	-	-		
1 昼光制御		事務室)ブラインド+庇		4.0	1.00	-	-		
3.3 照度		事務室) 750lx		4.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境				3.8	0.25	-	-		3.8
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材を全面的に使用		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				2.6	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能		1/30以上		4.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙		5.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.5
1 機能性				3.2	0.40	-	-		3.2
1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				1.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たしている		4.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-		
1 広さ感・景観				3.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		食堂(リフレッシュスペース)に自動販売機設置		5.0	0.33	-	-		
3 内装計画		建物全体のコンセプトや機能が明確であり、内装計画に反映している		5.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.0	0.30	-	-		4.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		1.5倍の耐震性能		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:ビニル床20年、壁ビニルクロス貼20年、天井:ボード類30年		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水汚水雑排水管の主要用途3種についてB以上で、Eは不使用		5.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				4.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		グリーン購入法対応などの節水型衛生器具、排水系統区分の細分化など		5.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		Sクラス対応相当		5.0	0.20	-	-		

	5	通信・情報設備	光ケーブル・メタルケーブル等通信の多様化、精密機器を地上階に設置など	4.0	0.20	-	-	
--	---	---------	------------------------------------	-----	------	---	---	--

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.7m以上、3.9m未満	4.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1≦[壁長さ比率]<0.3	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	天井内転がし配線・ケーブルラック・EPS内配線等により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	天井内転がし配線・ケーブルラック・EPS内配線等により仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	県産材の採用、バルコニーの設置、外灯の設置等	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.1
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.78	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.64	4.6	0.50	-	-	4.6
4 効率的運用			2.5	0.20	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		自動水栓・泡沫水栓や節水型便器を採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	井水を散水に利用	4.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		断熱材:スラブ下、フリーアクセスフロア:床、再生加熱アスファルト混合物:基礎下	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法で分別性に配慮、OAフロア採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		CO2評価値/参照値の割合(75%)	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明がない	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート






■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	仮称東消防署庁舎棟新設工事【BEE	1.7	BEEランク	★★★★
------	-------------------	-----	--------	------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
4.0	+	2.6	=	6.6	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	4.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	4.0
消費エネルギー量削減により運用時のLCCO2排出量低減に配慮			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。			

 : 入力欄